



佛事の常識・非常識



Q:「六文銭」について教えてください。A:三途さんずの川の渡し賃とされています。

ある方から次のようなご質問を頂きました。「三途の川を渡るのに六文必要なので、お棺の中に入れるとか、今では金属は燃やせないで、お棺に入れられないとか、三途の川を渡るために水泳教室へ通い、泳げるようにしているとか etc 言われておりますが、『六文銭』について教えてください」というお葉書を頂きました。それにしても三途の川を渡るのに水泳教室に通っている人がいるというのには驚かされますね。もともと葬儀の際に故人と共に埋葬される物品である副葬品の一つがこの「六文銭」です。今でも納棺の際に、紙銭しせんを頭陀袋ずだぶくろに入れて葬儀屋さんが「昔は六文銭を入れたのですが、今は紙のお金を入れています。どうぞ故人さんにお小遣いをあげてください」と呼びかけて、皆さんが財布の中から硬貨をいそいそ取り出し入れています。三途さんずとは娑婆世界しよばせかいのことです。この「川を渡って彼の岸にたどり着くと考えられ、川を渡る際に縣衣翁けんねおうと奪衣婆たつえぼという番人がいて、六文銭を持っていないと衣服をはぎ取る」と十王経に説かれたのに由来して、今でも続いているようです。

寺ともさん・ごほれ話

今回も感動したエピソードをご紹介します。先月の寺報で「夕映えの会」の藤田さん

が講演なさった四国新聞の記事を紹介しましたところ、藤田さんから御礼のファックスを頂きました。いま認知症介護者の会である「夕映えの会」に変化が起きているらしいです。7月の布ぞうり作りがご縁になり、寺ともさんが会に参加するようになったことは、以前のかわら版でお知らせしました。今回はさらに進化して、参加している寺ともさんの中に折り紙の達人がいらしたそうで、その方の指導で夕映えの会で月一回の「折り紙教室」が開かれるようになったそうです。それだけでも凄いのですが、それをキッカケに、近所の方や一人暮らしの方たちが夕映えの会に参加するようになったそうですよ。いやはや恐れ入りました。大変素晴らしい人と人との絆が結ばれていますね。夕映えの会が開かれる「地域サロン山本さん家」は高松市藤塚町 1-14-4 です。興味のある方は代表の藤田さん 087-861-5931 にお気軽に問い合わせしてみてくださいね。

ご自慢のペットちゃん

- 名前：クーちゃん
- 性別：♂
- お年：5歳
- 種類：柴犬
- 好物：ガム・ジャーキー
- 苦手：大きな犬
- 住所：林田さん宅(高松市)
- 性格：あらい



ペットちゃんを募集しています

エピソード：孫さんがもってきたのがキッカケで飼うことになったクーちゃん。名付け親も孫さんで「クークー」鳴くのでクーちゃんになったそうです。とにかく素晴らしい番犬です。というか怖いです。よその人がいる間中ずっと吠え続けます。名付け親の孫さんがやってくると大喜びしますよ。飼い主の感情を理解する繊細な一面もあるのですが、プロパンの入れ替えに来たおじさんには、エサのビスケットをもらうまで吠えて要求します。ワンワン♪

NHK高松放送局ゆうどき香川・とれとれマイビデオ



10月の寺とも「はつらつ健康体操」が10/28NHKに出ました。島アナウンサーからは「皆さんとても真剣に先生の説明を聞き体操している様子が印象的でした」というコメントを頂きました。

10/28夕方6時48分放送 倉本先生有難うございました♪

♪～♪～ ♪～♪～ ♪～♪～
おまけ
大正琴のコンサートで募金して頂いたところ、12,550円もの募金がありました。翌日の12月7日に、NHK歳末おけ合いに募金に来ました。今年も一年間、ありがとうございました。

@かわら版不要の方は恐れ入りますが 087-821-6348へご連絡を。